

2024(令和6)年度(公財)和歌山県人権啓発センター事業計画

【**新**新規事業()前年度当初予算額】

1 学びの場の提供

3,699千円(7,428)

人権について学ぶことのできる場として、講演会、ワークショップ等の開催、講師の派遣を行うほか、誰もが自主的に学ぶことのできる人権ライブラリーを運営する。

①人権ライブラリー(閲覧室運営)

287千円(282)

人権に関する図書、DVD、資料等を整備し、閲覧・貸出等の業務を行う。令和6年度は図書、DVDの整備し充実を図る。(県補助事業)

*2024(令和6)年2月末現在の状況

書籍:5,430冊(うち点字図書104冊)、DVD・VHS:547本

②人権感覚を育てよう

489千円(488)

和歌山県が開発した大人も子どもも学べる「人権感覚を育てよう」プログラムを実践するための講師を広く養成するとともに、県内の幼稚園・保育所等を中心に、プログラムの普及と啓発手法の周知を図る。(県委託事業)

○講師養成セミナー「みんな、たいせつ」(1回)

(場 所)未定

(対象者)教諭・保育士等指導者

(内 容)講演とワークショップ

○「みんな、たいせつ」修了者向けフォローアップ研修(1回)

(場 所)和歌山市

(対象者)講師養成セミナー修了者、出張講座訪問園の職員等

(内 容)講演とディスカッション

○出張講座「みんな、たいせつ」(5回)※ファシリテーターはセミナー修了者

(場 所)実施場所は選考

(対象者)子ども(3~5歳児)

(内 容)体験型講座

③インターネット上の人権侵害対策

1,783千円(2,228)

インターネット上における人権侵害防止のため、県民に対しインターネット上の問題点や正しい使い方についての啓発として、研修会等を開催するとともに地域において講座を開催する。(県委託事業)

○研修会の開催(場 所)和歌山市(予定)

(対象者)200人程度

(内 容)講演

○講座の開催(場 所)県内各地(全3回予定)

(対象者)各会場30人程度

(内 容)知識習得のための講演とワークショップ

新

④人権活性化事業

177千円(一)

就労支援事業所を訪問・体験することにより、就労支援事業所の役割や就労支援事業所で働いている人について知る機会を作る。(県委託事業)

(開催場所)ぱん工房かたつむり(予定)

(参加者)20人

(内 容)事業所利用者とパン作り体験

⑤人権啓発支援事業

893千円(817)

中小企業の経営者及び研修担当者を対象に、企業の従業員一人ひとりが人権問題を正しく理解することで、誰もが公平・公正に働くことのできる職場づくりを支援するための講座を開催する。(2回)(中小企業庁委託事業)

(開催場所)和歌山市、田辺市(予定)
(対象者)中小企業の経営者及び研修担当者等
(内容)外国人労働者の人権

⑥職員講師派遣

70千円(70)

事業所、団体等が実施する研修会の講師としてセンター職員を派遣する。
(センター自主事業)

2 考えるきっかけと素材の提供

7,793千円(6,507)

各種作品募集・展示、啓発資料の配布等を通じて、人権について考えるきっかけと素材を提供する。また、各種イベントやキャンペーンを通じて人権の大切さを訴える。

①人権ギャラリー(研修室)

61千円(61)

さまざまな人権関係団体、グループ等の研修・学習会や展示会などに貸出を行うほか、啓発パネル等の展示を行う。
(県補助事業)

②啓発ポスター・人権の詩募集

218千円(216)

人権に関するポスターや詩を募集し、優秀作品を表彰し、啓発活動の資料等として活用する。
(県委託事業)

- 人権啓発ポスターは、最優秀賞作品を「人権を考える強調月間」「同和運動推進月間」における啓発に活用する。
- 人権啓発ポスター・人権の詩を啓発資料として広く展示、教材としても活用する。

③人権を考える強調月間・同和運動推進月間

372千円(454)

強調月間及び推進月間に集中的に啓発活動を行うことにより、人権意識の高揚と同和運動の推進を図る。
(県委託事業)

- 人権を考える強調月間 (期間) 11月11日～12月10日
(内容) 街頭啓発、啓発ポスター作成・配布
- 同和運動推進月間 (期間) 11月1日～11月30日
(内容) 街頭啓発、啓発ポスター作成・配布、講演会の開催

④ふれあい人権フェスタ

4,632千円(-)

NPO団体等との協働を継続しつつ、2022年まで開催してきたフェスタをリニューアルして開催する。紀南地方の団体の参加や新たな来場者の開拓を目指し、より幅広い啓発を目的とする。

(開催場所) 紀南文化会館(田辺市)
(日程) 2024年11月16日(土) ※予定

⑤親子でわくわくコンサート

1,000千円(1,300)

コンサートの合間に「音楽がこどもに与える影響」についての話をし、普段コンサート等に行く機会の少ない子育て世代の保護者の心を癒やすとともに、こどもの感性に影響を与え、こどもの気持ちの安定を図る。
(県委託事業)

- (一社)和歌山フィルハーモニー管弦楽団によるコンサート及び関係者による講話
(場所) 和歌山市
(対象者) 300人(150人×2部制)

⑥大学生主体による人権啓発イベント

1,176千円(100)

大学生自身が主体となった街角イベントを企画・開催することにより、若者による若者のための人権啓発を実施することで若者の人権に対する関心を高める。
(県委託事業)

- 企画委員会 (場所) 和歌山信愛大学
- 各イベント (場所) 和歌山市、海南市
(対象) 県民
(テーマ) こどもの人権、性の多様性、ジェンダーなど

- ⑦啓発ポスター・人権の詩入賞作品集作成 334千円 (384)
人権の詩及び啓発ポスターの入賞作を作品集に収録、啓発教材として活用するほか、人権の詩のパネルを作成する。(センター自主事業)
作品集「啓発ポスター・人権の詩」3,000部
人権の詩パネル作成・貸出

3 情報の収集と提供 1,891千円 (2,067)

センターのホームページや情報誌を通じて、人権に関するあらゆる情報の収集と提供を行う。また、企業、団体等の要望に応じ、センター登録講師を紹介する。

- ①ホームページの運営 341千円 (341)
センターの活動や、人権に関するさまざまな情報をインターネットを通じて提供する。(県補助事業)

- ②センター情報誌の発行 1,550千円 (1,496)
人権に関するさまざまな情報や人権課題に取り組むNPO団体等の紹介、センターの活動・事業案内、啓発記事等を掲載したセンターだより『E.L.F.(エルフ)』を年に4回発行する。(センター自主事業)
・『E.L.F.』規格 A4/12ページ、全頁ルビ・音声コード付き
1回あたり5,000部

- ③講師バンク
市町村、企業、各種団体等の要望に対し、女性、子ども、障害者、同和問題などの人権課題について分野別に登録された講師を紹介する。(センター自主事業)

4 人権相談 4,368千円 (3,803)

人権に関わるさまざまな相談に対し、問題解決の視点から相談者に必要な助言等を行う。(県委託事業)

常設相談 「人権ホットライン」による相談電話に人権相談員等が対応。
(相談日) 毎週月～金曜(祝日除く)
(相談時間) 9:00～16:00

法律相談 弁護士による法律相談(要予約)
(相談日) 偶数月 第2・4木曜
奇数月 第2土曜・第4木曜
(相談時間) 13:00～16:00(1枠40分×4枠)
(相談方法) センター来所による面接相談
または県振興局来所によるオンライン相談

5 センター運営 7,825千円 (7,441)

事務室使用料のほか公益財団法人和歌山県人権啓発センターの運営に要する経費。(県補助事業)

6 人件費 52,736千円 (51,270)

(県補助事業)

合計78,312千円 (78,516)